

# 洪水災害情報について

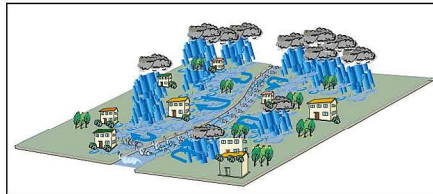
H27年の水防法改正に基づき、江合川、旧北上川、鳴瀬川などで浸水域の公表がありました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 1 氾濫の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

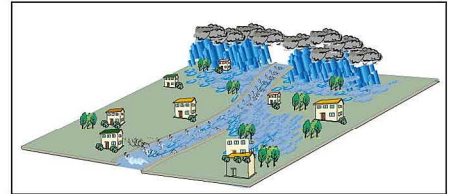
### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



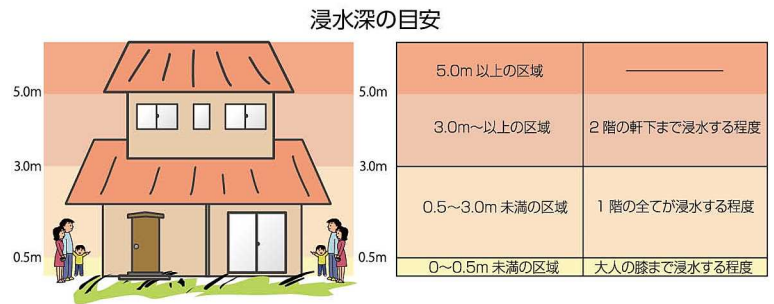
### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



## 2 説明(外水氾濫)

- このマップで使用しているハザード情報は、江合川、旧北上川、鳴瀬川などが大雨により氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。大雨による浸水の状況は1000年に1度の確率で発生する大雨をもとにシミュレーションしています。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



## 3 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

### 洪水注意報(気象庁)

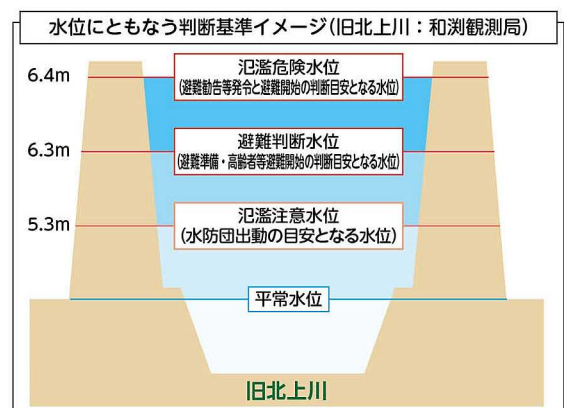
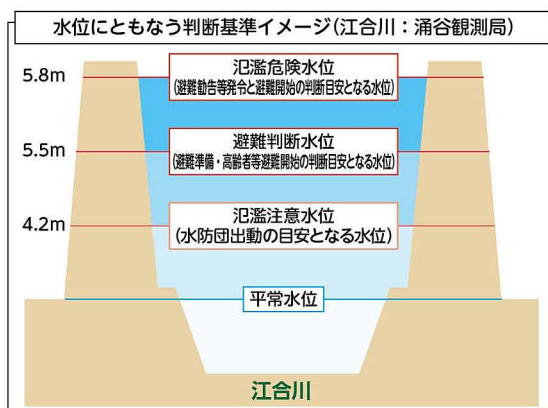
- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

### 洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。

### 指定河川洪水予報など

- 江合川、旧北上川については、仙台管区気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する北上川下流河川事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。



※現況水位は、「宮城県河川流域情報システム」で確認できます。 <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>